

# 2008年度（平成21年3月期） 第2四半期決算説明会

大日本住友製薬株式会社

2008年11月4日

# 経営成績

金額単位：億円

	07年度2Q 累計	08年度2Q 累計	前年同期比		08年度2Q 業績予想	差額
			増減額	増減率		
売上高	1,287	1,344	56	4.4 %	1,326	18
営業利益	223	182	△41	△18.5 %	146	36
経常利益	222	182	△40	△17.9 %	146	36
四半期純利益	138	109	△29	△21.2 %	88	21

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入しております。

# 売上高の増減要因

金額単位：億円

	07年度2Q 累計	08年度2Q 累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,287	1,344	56	4.4 %

## (増収要因)

- ・新製品(ロナセン・アバプロ)の発売
- ・新規生産受託の開始
- ・輸出の増加

## (減収要因)

- ・薬価改定の影響
- ・アムロジンの減収

# 戦略4製品および新製品の売上高

金額単位：億円

	07年度2Q 累計	08年度2Q 累計	前年同期比	
			増減額	増減率
アムロジン	321	305	△ 16	△ 4.9 %
ガスモチン	94	99	5	5.6 %
プロレナール	71	73	2	3.3 %
メロペン	71	73	2	2.4 %
<b>戦略4製品 計</b>	<b>557</b>	<b>551</b>	<b>△ 7</b>	<b>△ 1.2 %</b>
アバプロ	—	13	13	—
ロナセン	—	13	13	—
<b>新製品 計</b>	<b>—</b>	<b>27</b>	<b>27</b>	<b>—</b>

(注) 売上高は、国内売上高でリベート控除前で記載しております。

# 売上原価・販売費及び一般管理費

金額単位：億円

	07年度2Q累計		08年度2Q累計		前年同期比 増減額
		対売上高 比率		対売上高 比率	
売上高	1,287	—	1,344	—	56
売上原価	482	37.4 %	528	39.3 %	47
売上総利益	806	62.6 %	815	60.7 %	9
販売費及び一般管理費	583	45.3 %	633	47.2 %	51
販売費・一般管理費	386	30.0 %	385	28.7 %	△0
研究開発費	197	15.3 %	248	18.5 %	51
営業利益	223	17.3 %	182	13.5 %	△41

(注) 売上原価には返品調整引当金繰入額を含めて記載しております。

## (売上原価)

- ・薬価の改定
- ・棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

## (販売費及び一般管理費)

- ・ルラシドンを中心とした海外臨床開発費の増加

# 営業外損益および特別損益

金額単位：億円

	07年度2Q 累計	08年度2Q 累計	前年同期比 増減額
営業利益	223	182	△41
営業外損益	△1	0	2
金融収支(受取配当金を含む)	8	8	1
寄付金	△9	△9	△1
その他	△0	1	2
経常利益	222	182	△40
特別損益	—	—	—
法人税等・少数株主利益	△84	△73	10
四半期純利益	138	109	△29

# 財政状態

金額単位：億円

	前期末 (2008年3月31日)	当四半期末 (2008年9月30日)	増減額
資産の部	3,998	3,855	△ 143
流動資産	2,511	2,393	△ 118
固定資産	1,487	1,462	△ 25
負債の部	815	619	△ 196
流動負債	679	487	△ 192
固定負債	136	132	△ 4
純資産の部	3,183	3,236	53

(自己資本比率)

79.6 %

83.9 %

## (資産の部)

- ・現金及び預金、有価証券の減少……………△ 88億円
- ・長期性預金の減少……………△ 40億円

## (負債の部)

- ・長期借入金の返済……………△ 46億円
- ・流動負債その他(未払金を含む)の減少……………△ 70億円

# キャッシュ・フロー

金額単位: 億円

<b>I</b> 営業活動によるキャッシュ・フロー	+ 104
・税金等調整前四半期純利益	+ 182
・減価償却費	+ 55
・仕入債務の減少額	△30
・法人税等の支払額	△ 101
<b>II</b> 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 130
・3ヶ月超の定期預金等の純増額	20
・有形固定資産の取得	△ 103
・投資有価証券の取得	△ 38
<b>III</b> 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 82
・長期借入金の返済による支出	△ 46
・配当金の支払	△ 36

当第2四半期末現金及び現金同等物残高 455億円(前期末比 △108億円)

# 2008年度業績予想の概要



# 2008年度通期業績予想

金額単位：億円

	07年度 通期実績	08年度		増減額	
		業績予想 (5/9発表)	修正予想	対前年度	対5月予想
売上高	2,640	2,660	2,660	20	—
営業利益	398	305	305	△ 93	—
経常利益	377	305	305	△ 72	—
当期純利益	256	185	185	△ 71	—

研究開発費	473	555 (565)	550	77	△5 (△ 15)
-------	-----	--------------	-----	----	--------------

(注) 6月に行った組織変更に伴い、5/9発表の業績予想の研究開発費の数値を修正しております。  
 なお、括弧内に、当初発表の数値を記載しております。

# 売上原価・販売費及び一般管理費

金額単位：億円

	07年度 通期実績	08年度		増減額	
		業績予想 (5/9発表)	修正予想	対前年度	対5月予想
売上高	2,640	2,660	2,660	20	0
売上原価	(37.6%) 994	(38.5%) 1,025	(38.9%) 1,035	(1.3%) 41	(0.4%) 10
売上総利益	1,646	1,635	1,625	△ 21	△ 10
販売費及び一般管理費	1,248	1,330	1,320	72	△ 10
販売費・一般管理費	775	(765) 775	770	△ 5	△ 5
研究開発費	473	(565) 555	550	77	△ 5
営業利益	(15.1%) 398	(11.5%) 305	(11.5%) 305	(△ 3.6%) △ 93	(0.0%) 0

- (注) 1. 売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。
2. 6月に行った組織変更に伴い、5/9発表の業績予想の販売費・一般管理費、研究開発費の数値を修正しております。(括弧内は当初発表数値。)
3. 前提為替レート 110円/\$、225円/£

# 国内営業の取り組み

# 戦略4製品および新製品の売上計画

金額単位：億円

	07年度実績	08年度予想	前年同期比	
			増減額	増減率
アムロジン	636	570	△66	△10.4%
ガスモチン	195	200	5	2.6%
プロレナール	145	150	5	3.4%
メロペン	148	145	△3	△2.0%
<b>戦略4製品 計</b>	<b>1,124</b>	<b>1,065</b>	<b>△59</b>	<b>△5.2%</b>

アバプロ	—	30	30	—
ロナセン	—	20	20	—
<b>新製品 計</b>	<b>—</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>—</b>

(注) 売上高は、国内売上高でリベート控除前で記載しております。

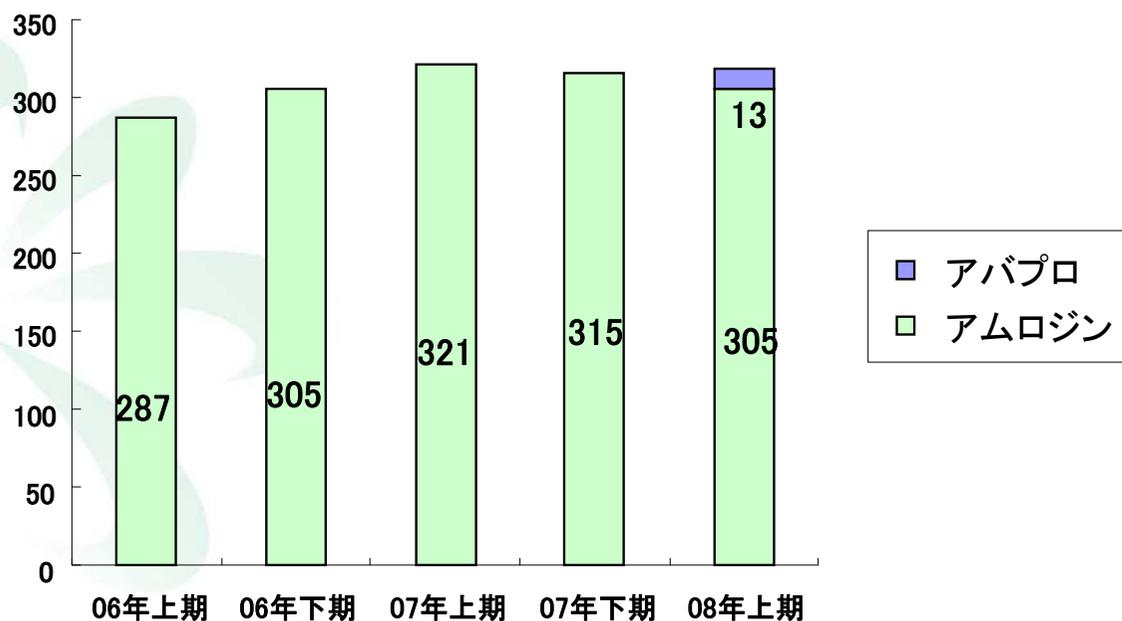
# アムロジン・アバプロ

## ■ アムロジン

- 年間計画に向け想定どおりの推移
- OD錠比率(9月末): 51 %

## ■ アバプロ

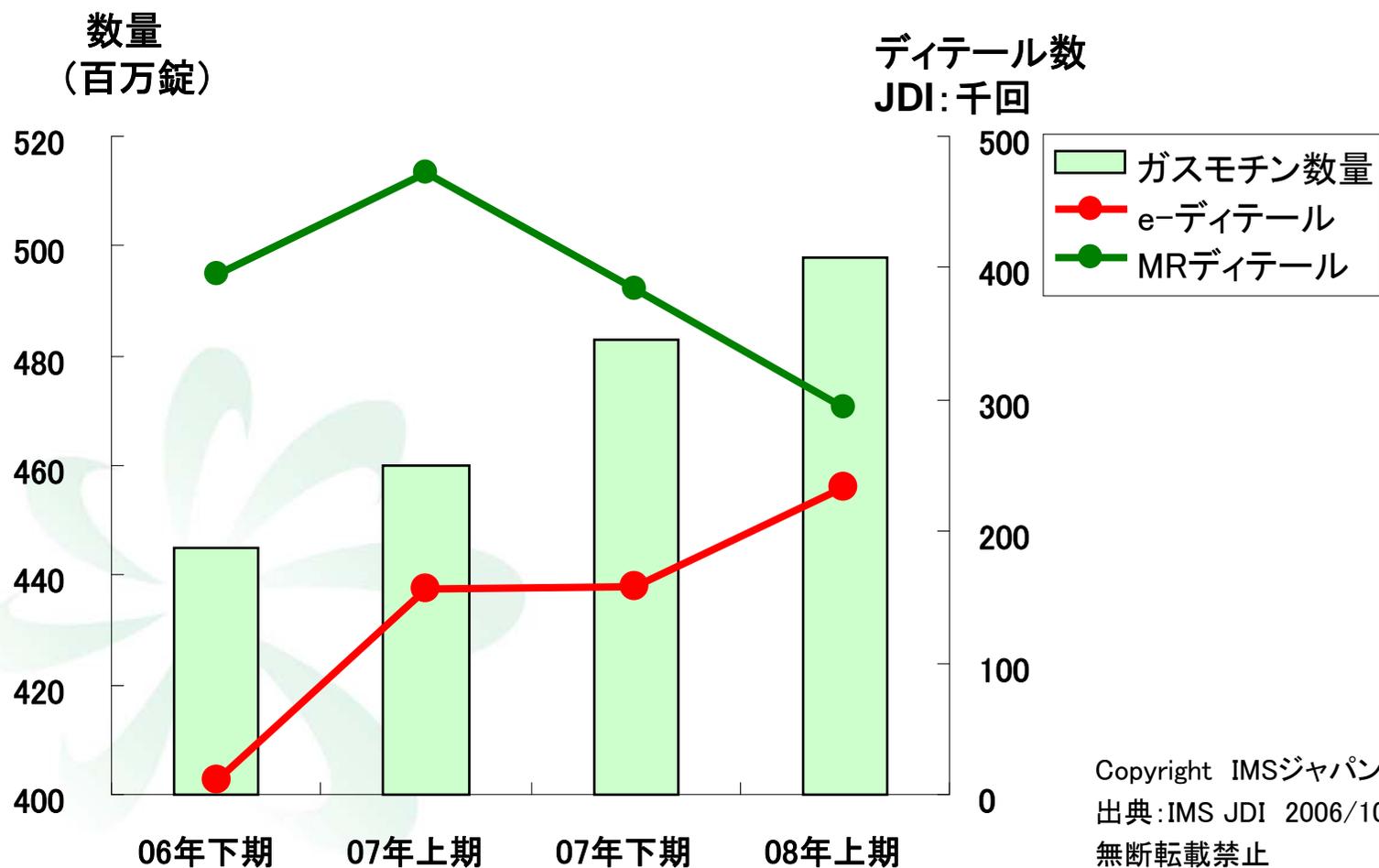
- ディテールの集中
- ARB内のポジショニングの早期確立へ



# ガスモチン

## ■ e-ディテール「ガスモチンチャンネル」の活用重点

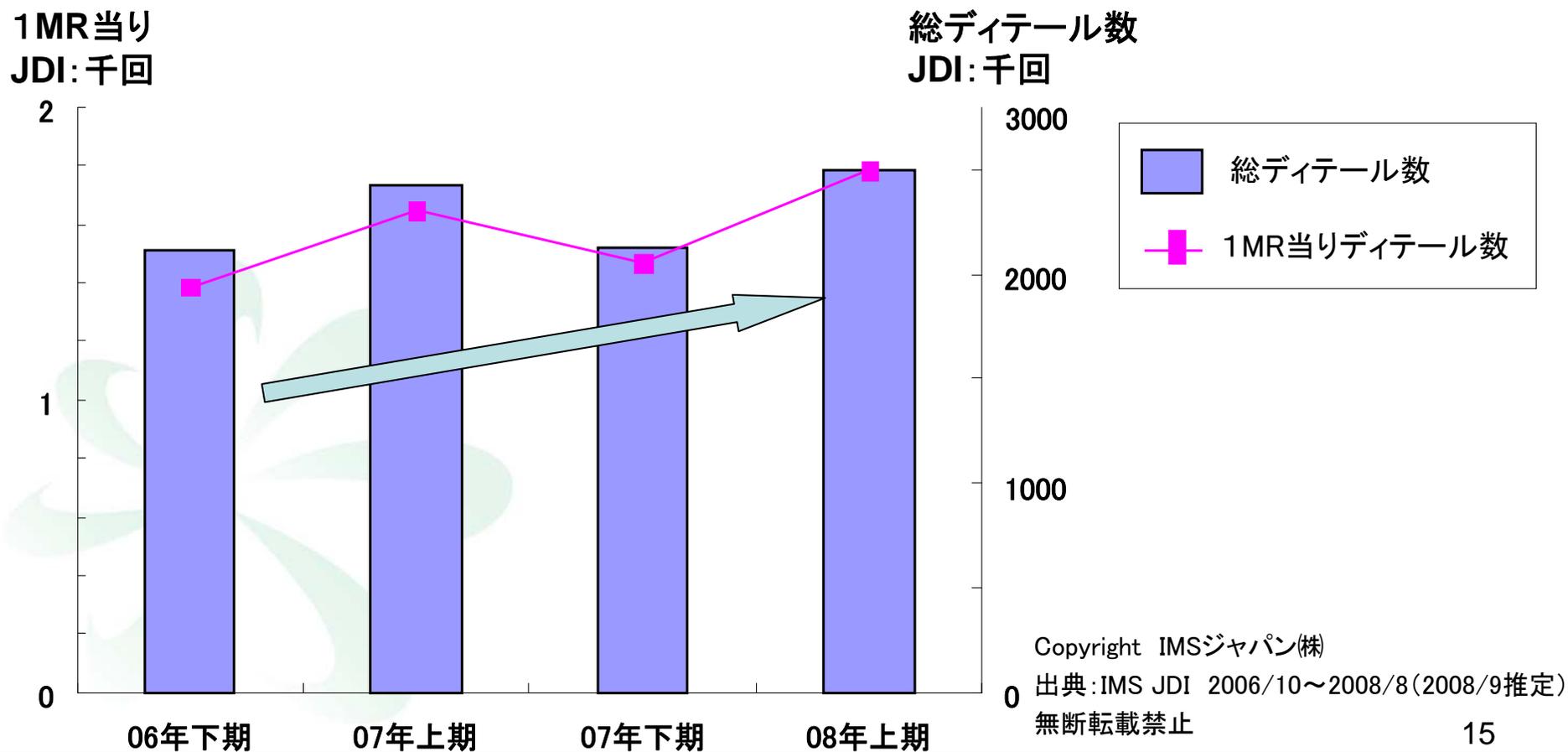
ソネット・エムスリー:MR君を利用し、約2万人の医師にコンテンツを配信



Copyright IMSジャパン(株)  
 出典:IMS JDI 2006/10~2008/8(2008/9推定)  
 無断転載禁止

# ディテールアップ策

- 07年度下期より、  
ディテールの量と質を上げるための取組みの施策実施
  - 「行動変える化」キャンペーン
  - 「ディテールを考えてみよう月間」等



## スミフェロンの新規効能追加

10月16日に、新たな効能・効果  
「C型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善  
(セログループ1の血中HCV RNA量が高い場合を除く)」  
の追加承認を取得

- インターフェロン $\alpha$ 製剤として、  
初めて C型代償性肝硬変の効能・効果を取得
- 皮下・筋肉内投与が可能で、  
患者様のQOLの改善が期待できる。

# 臨床開発の現況

# 臨床開発の現況

申請中	第Ⅲ相試験	第Ⅱ相試験	第Ⅰ相試験
肝細胞癌治療剤 <b>SM-11355</b> (ミリアラチン)	糖尿病治療剤 <b>SMP-508</b> (レパグリニド)	糖尿病合併症治療剤 <b>AS-3201</b> (ラニレストット)	過活動膀胱治療剤 <b>SMP-986</b>
糖尿病治療剤 <b>SMP-862</b> (トホルミン)	統合失調症治療剤 <b>SM-13496</b> (ルラシドン)	関節リウマチ治療剤 <b>SMP-114</b>	糖尿病治療剤 <b>DSP-3235</b>
パーキンソン病 <b>AD-810N</b> (ゾニサミト)		認知症治療剤 <b>AC-3933</b>	アレルギー性疾患治療剤 (P1準備中) <b>DSP-3025</b>
バリウム注腸X線造影 検査前処置 <b>ガスモチン</b>	統合失調症治療剤 (米国・欧州等) <b>SM-13496</b> (ルラシドン)	関節リウマチ治療剤 (欧州) <b>SMP-114</b>	気管支喘息治療剤 (米国) <b>SMP-028</b>
適応菌種追加 <b>アムピゾーム</b>		認知症治療剤 (米国・欧州) <b>AC-3933</b>	糖尿病治療剤 (欧州) <b>DSP-7238</b>
発熱性好中球減少症 <b>メロペン</b>		過活動膀胱治療剤 (米国・欧州) <b>SMP-986</b>	糖尿病治療剤 (米国) <b>DSP-8658</b>

 国内開発(新有効成分)

 国内開発(適応症追加)

 海外自社開発

本年7月からの変更を白抜き文字で表示

# ルラシドン 進捗状況

## グローバル試験(実施中)

### ■ 統合失調症

- プラセボ対照第Ⅲ相試験 (PEARL #1)
  - 昨年10月25日、スクリーニング開始
  - 患者のリクルート予定通り完了
- プラセボ及び実薬対照第Ⅲ相試験 (PEARL #2)
  - 1月31日、スクリーニング開始、投与中
- 長期安全性投与試験 (PEARL Safety)
  - 3月17日、スクリーニング開始、投与中
- プラセボ及び実薬対照第Ⅲ相試験 (PEARL #3)
  - 10月15日、FDAへIND Amendment提出
  - 近々スクリーニング開始予定

**Program to  
Evaluate the  
Antipsychotic  
Response to  
Lurasidone**

# ルラシドン 進捗状況

## グローバル試験(計画中)

- **双極性障害** : 第Ⅲ相試験を来年早々に開始予定

## 国内(Pan-Asia)開発

- 日本、台湾、韓国で統合失調症患者に対する第Ⅲ相試験の治験届を提出
- 日本: 投与開始済み
- 台湾、韓国: 当局に治験届が承認され、近々スクリーニング開始予定
- 試験計画概要
  - 対照薬: プラセボ(参照薬: リスペリドン)
  - 目標症例数: 440例
  - 主要評価項目: PANSS

# 精神神経創薬コンソーシアム NDDC

「基礎研究の臨床への応用を促進し、  
精神神経領域における医療に貢献する」

NDDC(ネディック): Neuropsychiatric Drug Discovery Consortium

# 精神神経領域における当社の取り組み

## 精神神経領域

当社の研究指向領域の一つ

ルーラン<sup>®</sup>

2001年より販売

ロナセン<sup>®</sup>

本年より販売

ルラシドン

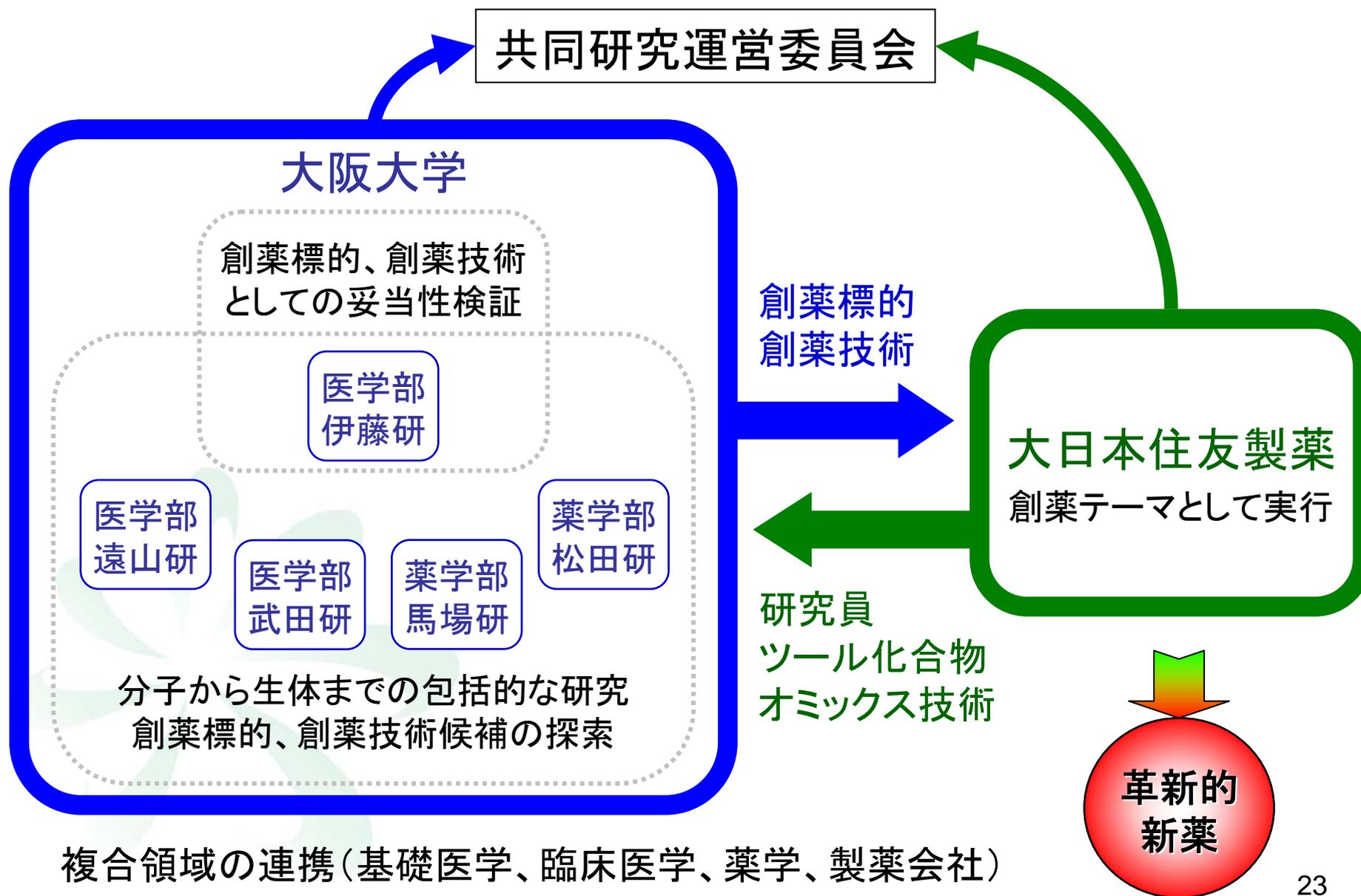
グローバルに開発中

## NDDC「ネディック」

病気の仕組みに関する新たな発見に基づく新薬を目指す  
大阪大学との共同研究体

2008年11月着手

# NDDC連携体制



## 将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

医薬品(開発中のものを含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。